

● 使用材料・使用器具

使用材料

| | |
|------------|------------|
| キクスイ | 15kg/缶 |
| プライマースーパーE | |
| グラナダ内装用 | 20kg/プラペール |
| 専用骨材1厘 | 20kg/紙袋 |

使用器具

| | |
|------|-------------|
| 計量 | 秤 |
| 下塗り | エアレススプレー等 |
| 基層塗り | リシンガン又はコテ |
| 模様塗り | スタッコガン又はコテ |
| 模様付け | ウールローラー(中毛) |

● 標準施工仕様

(23℃、50%RH)

| 工程 | 使用材料 | 調合 (重量比) | 所要量 (kg/m ²) | 塗り 回数 | 工程間隔時間(hr) | | 備考 |
|------------|--------------------------------------|-------------|-----------------------------|----------|------------|-----|--------------------------------------|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | |
| 下塗り | キクスイ プライマースーパーE | 15kg 無希釈 | 0.1~0.19 | 1 | | 3以上 | エアレススプレー等 |
| 基層塗り | グラナダ内装用 | 20kg | 0.8~1.0 | 1 | - | 6以上 | リシンガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa |
| | 清水 | 1~2kg | | | | | |
| 模様塗り | グラナダ内装用 | 20kg | 3.0~3.5 | 1 | - | | スタッコガン 口径:8~10mm 吹圧:0.5~0.6MPa |
| | 専用骨材1厘 | 10kg | | | | | |
| | 清水 | 0.4~0.6kg | | | | | |
| パターン 付け | 材料を大玉模様吹き放し後、乾いたウールローラーで押えてパターン付けする。 | | | | | | 追っかけ 模様付け |
| 養生撤去 | 養生シートなどの撤去を行う。 | | | | | | 直後又は 乾燥後 |

● 標準施工要領

1. 下塗り

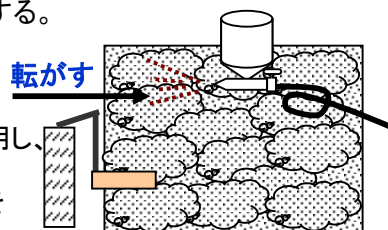
- ① 下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ② 下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ① グラナダ内装用は、開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ② グラナダ内装用に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③ 基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付ける。

3. 模様塗り

- ① 主材は、定められた仕上りになるように指定された清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ② 模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を大玉吹き放し調に吹き付ける。
- ③ 希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ベタにならないように吹く。



4. パターン付け

- ① パターン付けは、模様塗り後、追っかけで乾いたウールローラーで行う。
- ② 時々清浄なウールローラーに交換し、引きムラをつくらないように作業する。
- ③ パターンは、壁全体のバランスも考慮してウールローラーで整える。

5. 養生撤去他

- ① 養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ② 足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。